

### 小山谷津・妖怪図鑑3 ～主に、カニの仲間・トンボ・他。。。編～

平成29・30年度の大椎小とあすみ小の5年生 & 赤シャツおやし

小学校から程近い場所。こんこんと清水湧き、枯れることなく行き渡る谷津田。そこには町では遭うことの無い数々の生物達が棲息している。そこで体験学習に勤しむ子どもたち。次々と出現する未知の生物達に、驚いたり、怖がったり、感動したり！谷津田で遭遇した生物達を妖怪と称しご紹介する、妖怪図鑑シリーズ第3回(最終回)は「カニの仲間・トンボ・他、編」にて締めたいと思います。

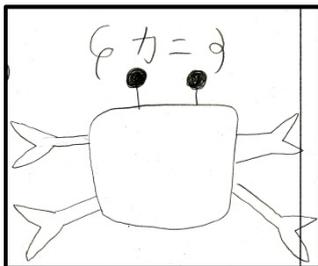
#### 【平成29・30年度、小学校田んぼの自然観察・おさらい】

小山谷津では、小学生が一年間通して稲作を体験するという体験学習プログラムが実施されております。田んぼ作業と並行して、その周囲に生息する生物や、植物を観察する「自然観察」が実施されます。29年度より「見つけた生き物の名前を自分でつけてみよう」との試みを取り入れると、子どもたちはユニークな命名とともに、多様な姿をした生物達を次々描き出し、子どもたちのフィールドにおける衝撃の第一感！が伝わって参りました。妖怪図鑑第一回は「オタマジャクシ・カエル編」、第二回は「クモ・淡水貝編」をお送りしました。

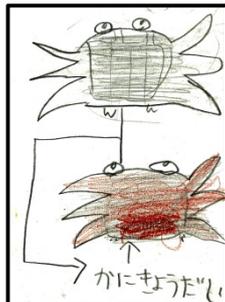
(以下、図の脚注は「証言番号 命名 証言者 コメント」の順です。)

#### 【妖怪図鑑・カニ】★谷津田にカニ！。。。脚は何本？

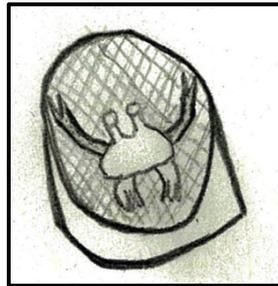
カニははさみが目印で、子どもたちに馴染みの深い生物に違いありません。見つけた瞬間みな「カニ！」と歓喜するのであります、が、意外に動きは素早い！。。。カニってどんなだっけ？



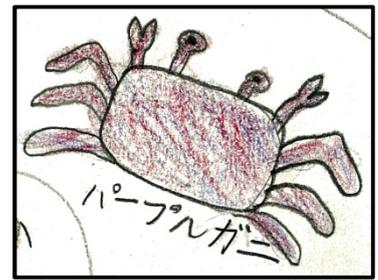
証言1 カニ  
(Y,U)H29 大椎  
※ 元気に手足広げる  
4本脚のカニさん。



証言2 かにきょうだい  
(I,R)H29 大椎  
・印象に残ったカニと赤いカニで兄弟です。  
※ 独特の風貌！6本脚のカニさん兄弟。



証言3 ガラスカニ  
(A,I)H29 大椎  
※ 透き通った体から同様の命名有り。ザルに捕らわれた宇宙人的の風貌。



証言4 パープルカニ  
(Y,K)H29 大椎  
・大きいカニ少し紫色。  
※ 8本脚のカニさん。

#### ☆正体は？ サワガニ (図1)

小山の谷津田で確実に観察できるカニは、サワガニでしょう。一年を通じて、水温16℃程度と一定している清涼な山からの湧き水を通す水路に棲んでいます。幼生期が存在せず、稚ガニとして孵化するため、ライフサイクルが陸の淡水で完結しています。このため、離れた地域との交配が起こりにくく、地域によって個性が現れやすいと言われます。透き通っていたり、ピンク色だったり、色の多様性も認められます。冷たい水に居ながらも、動きは意外に俊敏！つかまえて観察するよりは、離れてじっくり観察するべきでしょう。ちなみに、脚の本数は、10本が正解です！

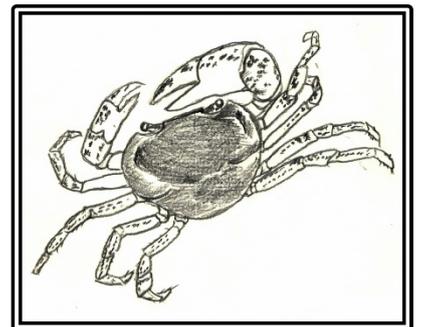
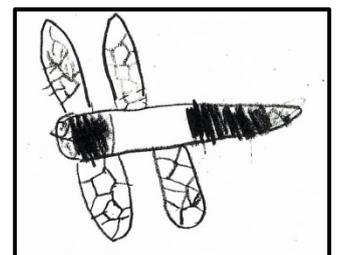


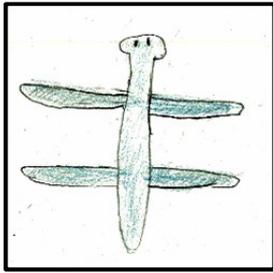
図1 サワガニ



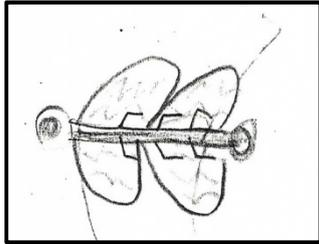
証言5 パンダトンボ  
(H,S)H29 あすみ  
・羽にスジ、動きが早い

#### 【妖怪図鑑・トンボ】★視界をサッと横切る飛行生物！

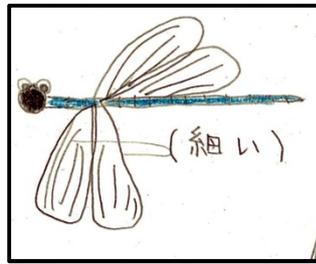
トンボも街に飛んでくることもあり、子どもたちには馴染みのキャラクターですね。しかし、田んぼには、色々な種類のトンボが訪れます。ビュン！と通過するトンボの残像に、様々なキャラクターが描かれる様です。



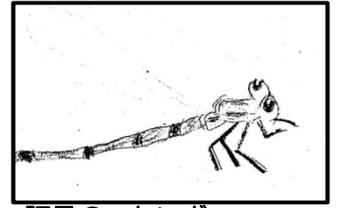
証言6 青いトンボ  
(I.T)H29 大椎  
※ 羽がグライダーの様



証言7 耳かきトンボ  
(I.T)H29 あずみ  
※ 青くて細長い先っぽがまるい。



証言8 トンボ  
(K.O) H29 大椎  
・細い水色の綺麗なトンボ



証言9 トンボ  
(M.S) H30 あずみ  
・とても細く、羽が見えない程うすい。体は赤色。

☆正体は？ トンボ ,イトトンボ(図2,3)

青いトンボ、と言われるものは、シオカラトンボかオオシオカラトンボでしょう(証言5、6)。細いトンボはイトトンボの類ですね(証言7~9)。両者は大きさや体の太さのみならず、複眼の形と配置、羽の形状が異なります。それにしても、耳かきの例えは秀逸です！

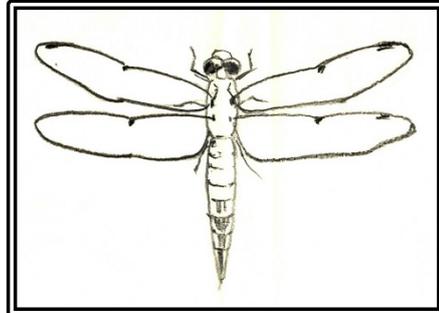


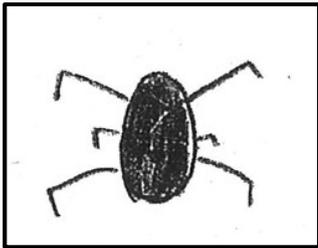
図2 トンボ科



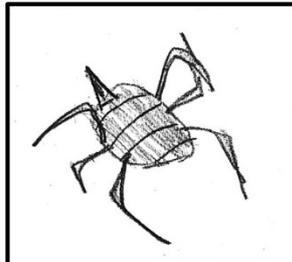
図3 イトトンボ科

【妖怪図鑑・その他色々】★レア生物！謎の生物！

いよいよ紙面は残すところ半分となりました。最後に、子どもたちに人気の高かったレアキャラクターを、一挙紹介します！



証言10 すばやくん  
(H.T)H30 あずみ



証言11 ひっくり返り  
(?M)H30 あずみ

☆正体は？  
マツモムシ(図4)？

ひっくり返って水面をスイスイ行く昆虫といえば、これです！セミや、次のコオイムシの仲間です。

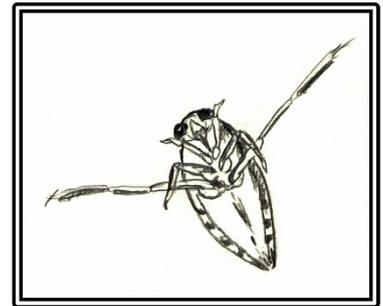
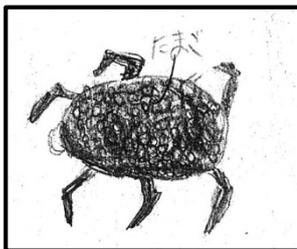
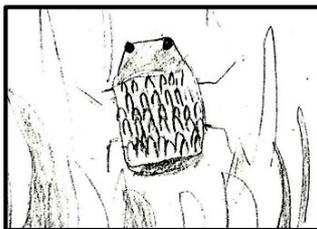


図4 マツモムシ



証言12 たまごのせ  
(H.S)H30 あずみ



証言13 たまごリュック  
(H.M)H29 あずみ

☆正体は？  
コオイムシ(図5)？

背中に卵を背負った虫言えばコオイムシ。メスがオスの背中に卵を産み、オスが子守をします。

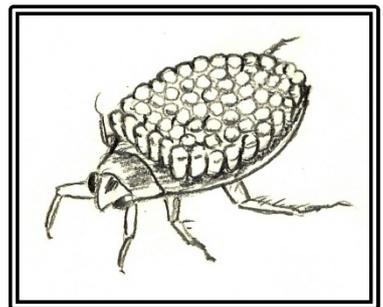
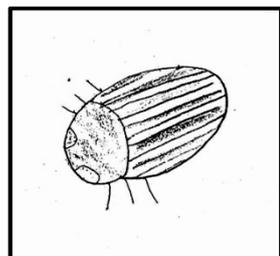
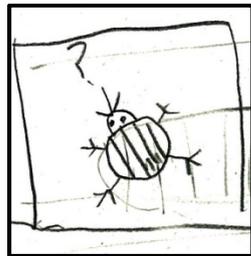


図5 コオイムシ



証言14 シマシマ  
(I.K)H30 あずみ



証言15 ?  
(S.B)H29 あずみ

☆正体は？  
コシマゲンゴロウ  
(図6)？

シマシマのある小型のゲンゴロウと言えば、これ！レアキャラと人気です。

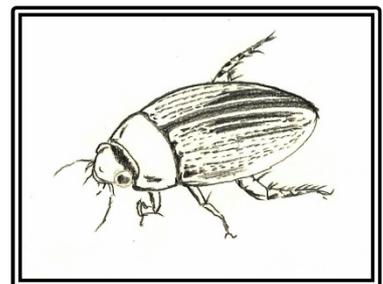


図6 コシマゲンゴロウ

【終わりに】感性の爆発！妖怪はまだまだ登場します！

ああ、残念！子どもたちの素晴らしい作品のほんの一部しか紹介できませんでした！

しかし、次年度も、子どもたちは様々な感動や驚きに触れ、不思議な妖怪達が出現する事でしょう！楽しみです！



# 里山たんけんレポート

## 第 229 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2019年2月3日(日) 晴

ニホンアカガエルの産卵が始まっていて、まずは卵塊探しから始めました。YPP 田に3コ、マイ田んぼの湧き水田んぼに8コの卵塊がありました。湧き水があって水温が高い田んぼでの産卵が早いようです。

谷津の手前の鉄塔まで巡りました。初めは小鳥の声もしていたのですが途中から全く声も姿もなくなってしまいました。なんと猛禽3種が出現、その為だったのでしょう。スコープで見るような場面はスタート時点で見たカワラヒワだけでした。それでも鳥は16種と出会いました。暖かい日でしたのでギシギシの葉ではたくさんのコガタリハムシが活動し、椿の花にはセイヨウミツバチが来ていました。ゴンズイの小枝にはミツバウツギフクレアブラムシも見られました。

オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、ミチタネツケバナ、オランダミミナグサなどが咲いていました。日陰には雪が残っていましたが春近しを思わせる1日でした。

(大人12名、小学生3名、幼児1名 報告 網代春男・写真 田中正彦)



## 森と水辺の手入れ ―― 森の下刈り・竹の切り出し ――

2019年2月17日(日) 曇

今日は二手に分かれひと組はニホンアカガエルの卵塊のカウントを、もうひと組は山林内の下刈りをしました。卵塊は全部の田んぼを巡って数え、458 個を確認しました。3月初めまで産卵は続きますので3月3日の谷津田観察会で今年の最終産卵数を確認します。

雌は1シーズンに1回産卵しますので卵塊を数えることで、生息数を推測するかが出来ます。ニホンアカガエルは全国的に生息数を減らしていて、湿田を維持することがこのカエルの消長に直結しています。

山林内の下刈りは主にアオキを刈りました。

午後からは地元の方のお宅を訪ね、今はいなくなった動植物の情報を千葉市の職員の方と一緒に聞きました。

(参加 大人9名、小学生3名、幼児1名

報告・写真 網代春男)



## 第 169 回 小山町 YPP「あぜの整備」

2019年2月17日(日) 晴



5年生の小学生がお手伝いに来てくれました。田んぼの水回りを整える「田んぼ整備グループ」と、ニホンアカガエルの卵塊を数える「計数グループ」と二手に分かれ、小学生は計数グループに加わりました。沢山の卵塊を確認した後、子どもたちも「田んぼ整備グループに合流」。深い泥に足をとられては歓声をあげていました。人の手が入った田んぼは、息を吹き返したように水を湛えキラキラと輝きました。

(参加 大人4名、小学生2名 報告・写真 たんぼぼ)

## <谷津田・季節のたより>

### 小山町

- 2月 7日 ニホンアカガエルの産卵始まる。1個。翌日44個確認。(たんぼぼ)  
2月 21日 エナガ、シジュウカラの混群飛来(赤シャツおやし)  
2月 24日 ニホンアカガエルの卵塊458個確認。(たんぼぼ)

### 下大和田

- 2月 1日 ニホンアカガエルの産卵始まる。(網代)  
2月 17日 卵塊数458個となる。(網代)  
2月 21日 一晩で600弱の産卵があった。(網代)  
2月 23日 卵塊1,355個となる。ウグイス初鳴き(網代)



ニホンアカガエル 撮影 たんぼぼ

### イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト(YPP)のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

**連絡先(いづれも):** ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

- ご注意:**
- ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。
  - ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
  - ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
  - ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

### ▼第232回 下大和田 YPP「野草を食べる会」と 「生きものいっぱい谷津田の米作り」オリエンテーション 同時開催。(3月16日)

#### ▼第233回 下大和田 YPP「苗床作りと種まき」(4月6日)

- ・野草を食べる会 セリやヨモギなど野草を摘んでお浸しや天ぷらで春の若菜を味わいます。
- ・今年新たに米作りに参加する方のオリエンテーションも行います。
- ・4月6日はいよいよ米作りの始まりです。苗床を作って、古代米やコシヒカリなどの種籾を播きます。

**日時:** 2019年3月16日(土) 9時45分~12時 ☆小雨決行、雨天は17日に順延  
2019年4月6日(土) 9時45分~12時 ☆雨天決行

**場所:** 千葉市緑区下大和田谷津

**集合:** 現地。初めて参加する方は駐車場や会場をご案内しますので事前に  
網代(あじろ)090-2301-0413 までご連絡ください。

**交通:** JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで中野操車場バス停下車、  
徒歩5分で現地。<千葉駅発8:25、8:40など、所要時間45分>料金540円

**持ち物:** 弁当、飲み物、帽子、軍手、敷物など。

**参加費:** 「野草を食べる会」300円小学生未満無料、米づくり参加者は無料。  
「苗床作りと種まき」会員・家族300円、一般500円 (小学生未満無料)

**主催:** ちば環境情報センター、ちば・谷津田フォーラム

### ▼里山くらぶ 森と水辺の手入れ

林内の下刈りなどをします。

**日時:** 2019年3月17日(日) 9時45分~12時 ☆雨天中止

**場所:** 千葉市緑区下大和田谷津 **交通:** (同上) **集合:** 現地。初めて参加の方はご連絡ください。(同上)

**持ち物:** 弁当、飲み物、長袖長ズボンの服装、軍手、帽子、敷物 **主催:** ちば環境情報センター

### ▼第231回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い

春の花の季節到来です。ウグイスの囀りを聞きながら谷津を巡ります。

**日時:** 2019年4月7日(日) 9時45分~12時 ☆雨天決行

**場所:** 千葉市緑区下大和田谷津 **交通:** (同上)

**集合:** 現地。初めて参加の方はご連絡ください。(同上)

**持ち物:** 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、あれば双眼鏡、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当、敷物。

**参加費:** 100円(小学生以上、資料代など) **主催:** ちば環境情報センター、ちば・谷津田フォーラム

### ▼第170回 小山町 YPP「あぜの手入れ」など

来年度の米づくりに備えて、今月も引き続き田んぼのあぜの手入れをします。

**日時:** 2019年3月9日(土) 10時~ ☆小雨決行

**場所:** 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

**持ち物:** 飲み物、長靴(長めのもの)、帽子、軍手、敷物。

**参加費:** 100円(小学生以上、資料代など) **主催:** ちば環境情報センター

■編集後記 2月も中旬、いよいよ、下大和田でも、小山でもニホンアカガエルの産卵が始まりました。その後、しばらく暖かな日が続いたおかげか、急速に数を増やし、2月半ば過ぎには例年の最大数に迫る勢いです。大粒のタニシも数を増やし、昭和の森の梅は満開、そして花粉も飛散。。。田んぼ作業も本格的に始動です!

(赤シャツおやし)